

2021年1月18日
株式会社インテリジェント ウェイブ

IWI、自社開発の IP フロー監視ソリューション「EoM」を QVC ジャパンへ提供 ～次世代 IP 放送に欠かせない、IP フローの詳細をリアルタイムに可視化するソリューション～

株式会社インテリジェント ウェイブ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：佐藤邦光、以下 IWI）は、テレビを中心としたマルチメディア通販企業である株式会社 QVC ジャパン（本社：千葉県千葉市、代表取締役 最高経営責任者：グレゴリー・ベルトーニ、代表取締役社長：塙雄一郎、以下 QVC ジャパン）へ、自社開発の IP フロー監視ソリューション「EoM」を提供したことを発表します。

【今回の EoM 導入の背景】

QVC ジャパンでは IP を活用した最新の放送システムで 4K 放送を行っています。IP 化された放送システムの監視には従来の SDI 方式とは全く異なる IP の特徴を考慮した監視が重要です。このような課題を解決するために QVC ジャパンは、IP フローの詳細な情報をリアルタイムに監視できる EoM を導入しました。

【EoM について】

EoM は、IWI がクレジットカード決済システムや証券業界向けシステムの開発で培ってきた高速データ処理の技術と、FPGA^(注) 技術を組み合わせることにより、放送業界向けに開発した IP フロー監視ソリューションです。4K/8K 放送の普及により、放送業界では IP 化された放送設備が必要となっており、放送の品質の維持・向上のために個々の IP を詳細に監視するソリューションの必要性が高まっています。EoM は、放送の IP 化において標準規格となっている SMPTE ST2110、ST2022 をはじめとした主要なデータ種別に対応しており、障害時の原因把握やリアルタイムでのデータ分析・可視化を実現することで、IP 化された放送システムの運用コストの大幅な削減に貢献します。IWI は今後も EoM の機能拡張を継続的に行い、本格的な IP 化を迎えた放送業界における IP 放送の品質維持・向上に貢献していきます。

(注) FPGA(field-programmable gate array)：製造後に構成を設定できる集積回路

【機能について】

- SMPTE ST 2110(-20/-30/-40)、ST 2022(-2/-6/-7)、などをはじめ 12 のデータ種別に対応
- データ種別毎のビットレート、パケットドロップ数、レイテンシー、ジッターなどを可視化
- 任意の閾値を設けたアラート設定

<製品情報詳細>

<https://www.iwi.co.jp/product/detail/eom.html>

【株式会社インテリジェント ウェイブ (IWI) について】

IWI は、ペイメント決済システムにおけるオンラインネットワーク基盤のシステム構築を中心に、証券市場向け超高速株価情報システムなど、金融業界向けの大量データをリアルタイムかつ正確に処理するシステムの開発・構築・保守を手がけており、圧倒的な国内シェアを獲得しています。また自社開発の内部情報漏洩対策製品等を手掛け、金融業界を中心に 30 年以上にわたって大容量・低遅延・高速分析を追求しビジネスを成長させております。

IWIは「次代の情報化社会の安全性と利便性を創出する」を経営理念に、高速、安全、高品質で利便性の高いIT基盤を提供して、企業のデジタルトランスフォーメーションを支援しています。IWIは大日本印刷グループの一員であり、東京証券取引所市場第一部に上場しています。<https://www.iwi.co.jp>

※記載の商品名、会社名は各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社インテリジェント ウェーブ 第三システム開発本部
Tel : 03-6222-7051
Email : eom@iwi.co.jp